

最後の幸せ

浅井
忍

人物

大森 浩司（40）会社員

大森 加代（66）浩司の母親

○病室・個室（夕）

ベッドで眠っている大森加代（66）。

心電図モニターのピッピッという音が聞こえている。

ベッドの横に座ってうなだれる大森浩司（40）。

ゆっくり目を覚ます加代、浩司を見て、

加代「浩ちゃん、ママの分も食べても良いよ。ママはもうお腹一杯」

加代に近づく浩司。

加代「浩ちゃん、浩ちゃんの好きなプリンあるよ。ママはさっき食べたから、浩ちゃんが全部食べて良いよ」

涙を流す浩司。

浩司の涙を優しく拭う加代。

加代「浩ちゃん、何で泣いてるの？ また、パパのことでお友達に意地悪言われたの？ パパはね、浩ちゃんの事、大好きだったのよ。浩ちゃんは、パパとママの宝物」

加代の手を握る浩司。

浩司「母さん……。女手一つで俺を育ててくれてありがとう。母さんの子どもに生まれてきて、本当に良かった」

ジッと浩司を見つめる加代。

加代「浩司……。お父さんと一緒に空の上から見守ってるからね。後悔のないように、精一杯生きなさい。あなたのお母さんになって幸せだった。ありがとう」

目を閉じる加代。

心電図モニターの音がピーと鳴る。

浩司「母さん」

大泣きする浩司。

（終）